

越 高 P T A だ よ り

一年間ご協力ありがとうございました！
PTA会長 可兒 雅幸

暖冬小雪の長期予報がはずれ、久しぶりの大雪に雪国暮らしを実感された方も多かったかと思います。厳しい寒さは続いておりますが、暦の上では立春も過ぎ、いよいよ三年生は卒業式と旅立ちの季節を迎えようとしています。

卒業を迎える三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業後は進学や就職とそれぞれ進む道は様々であると思いますが、中越高校で学んだことや友人を大切に、これからは社会の一員として頑張っていってください。

さて、今年度のPTA活動では、三委員会が企画した多くの事業を行ってまいりました。総務広報委員会では、越高PTAだよりを三回発行し、生活進路委員会では、PTA学習会として進路学習会と交流分析学習会を開催し、年末にはPTAギャラリーを設置させていただきました。また、教養委員会では、フォトツアーから始まり文化祭餅つき・カル

チャー教室の開催と盛り沢山の活動をさせていただきました。こうした活動を通して、楽しみながらPTAの方々の交流が図れたことは意義深かったと思います。

最後になりましたが、一年を通してPTA活動の企画・運営にご協力頂いたPTA役員の皆様と、様々な活動に参加協力頂いたPTA会員各位に感謝申し上げますとともに、来年度もPTA活動が益々発展することをお祈りします。

「共育」のための素晴らしいPTA活動
校長 野内 清忠

かつては、親から子、子から孫へと家族や地域の文化などが伝わり、子育てについても身近にいろんな援助者・助言者がいました。

現在は、核家族という言葉が死語と考えるくらい核家族化した上に、世の中が急速にかつ大きく変化しすぎて、しばらく前の知識や技術等が役に立たないかのような錯覚に陥る傾向にあるのではないのでしょうか。その結果、家庭や地域の援助者・助言者の影が薄くなったように思います。

こういう状況ですので、PTAという組織を、親も子も「心豊かに生きていくための互助組織」にすることには大きな意味があると考えます。

中越高校の昨今のPTA活動の充実した内容は、「親も教師も生徒も共に育つ『共育』のためのPTA活動」・「心豊かに生きていくための互助組織」ですし、今後更に成長する芽も出ています。

卒業生の保護者には、PTAのOB・OGとして、今後中越高校に助言・提言等をいただきたいですし、在校生の保護者には、PTA活動に一層多くの方から参加してもらい、親子とも中越高校に過ごせたことを喜んでもらえるように、力を合わせて活動して行きたいものです。1年間本当にありがとうございました。

~~~~~

**レカンフラワー教室**  
**1月30日（土）に、教養委員会主催の「レカンフラワー教室」が開催されました。**  
**22人の方が参加され、楽しいひとときを過ごしました。参加された方々のご感想です。**

『レカンフラワー教室に参加して』

最初「レカンフラワー」って何だろう？と興味はありながらも、「不器用でも出来るかしら？」と不安な気持ちで参加しました。

講師の小林先生のご指導の下、震える手でピンセットを持ち、1つ1つドライフラワーを小さなキャ



ンバスに貼り付け、なんとか「花の宝石箱」が完成しました。

参加者皆さんの力作は「PTAギャラリー」に展示させて頂きましたが、ご覧になりましたか？スポットライトを浴び、より輝いていました。

講師の小林先生には、優しく、丁寧に指導頂き、本当にありがとうございました。これを機会にもう1つチャレンジしてみたくりました。 <2年P・佐藤 佳代>

レカンフラワーの意味も解らず、興味津々で参加させて頂きました。

レカン（麗乾）はフランス語で宝石箱という意味との説明をお聞きし、なるほど、美しく乾かした花はまるで宝石のようでした。

真冬の鉛色の空を見ながら毎日、鬱々とした気分でしたが、皆さんに気軽に話しかけて頂き、色鮮やかな花と楽しいおしゃべりと笑い声で、気分もすっきり、とても楽しいひとときでした。

「高校になってもPTA？」なんて考えず、また参加させて頂きたいです。 <1年P 田中 雅美>



子供が入学して、お便りの中でのPTA活動はいつも興味深く、一度は参加したいと思っており、今回初めての参加となりました。

その名も「レカンフラワー作り」。はじめて聞く、レカンフラワーとは？と思いながらもパソコンなどで調べればすぐわかる事でも、まずは参加！と思いました。行ってみて素敵な作品を見て、私の日常にない物でした。

参加された皆様もにぎやかでたのしそうで一人での参加も心細くなつたのしめました。

エレガントな時間を過ごさせていただき、出来上がった作品は我家に飾らせていただいています。

日々バタバタと過ぎる毎日で、今までPTA活動に無関心だった私も子供の在学あと2年。たのしんで関わりたいと思いました。 <1年P 前山 千恵子>

「レカン」とは、宝石箱という意味だそうで、用意された小箱の中に乾燥した可愛らしい色とりどりの花を一つ一つピンセットを使って丁寧に貼り合わせ作品を仕上げました。普段、忙しい毎日ですが今回参加して心静かにゆっくりと取り組むことができ、また、講師の小林美和子先生の温かくやさしい人柄に触れたり、PTA活動の和気藹々とした雰囲気の中でとても楽しいひとときを過ごすことができました。大変ありがとうございました。 <3年P 佐藤>

『1年間ありがとうございました。』  
本年度の教養委員会の行事へのご参加ご協力に大変感謝しています。  
来年度も『親も楽しむ会』として、たくさんの楽しい企画を用意しています。  
また、一緒に活動して下さる教養委員も募集しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。1年間ありがとうございました。 教養委員一同

卒業生の胸に付ける  
**花リボン作り**  
卒業する3年生が卒業式で胸に付ける「花リボン」づくりを2月18日（木）に行いました。  
保護者と先生方と30人で楽しく作りました。制作の様子を、参加した方から報告していただきます。

『花リボン作りに参加して』

卒業式に3年生の皆さんから胸に付けてもらう「花リボン」作りをテーブルを囲んで作業しました。



いとても暖かい気持ちになりました。

暖かい気持ちで作った「花リボン」を3年生の皆さんから胸に付けてもらえて幸せです。

3年生の皆さん卒業おめでとうございます。  
3年生の教養委員の皆様大変お世話になりました。有り難うございました。 <2年P 桑原 みち>

私の母校である中越高校に娘が入学し早三年。母子二代でお世話になるこの学校への恩返しの意味もあり教養委員として色々なPTA行事に参加させていただきました。

どの活動も楽しく多くの方との出会いもあり有意義な三年間でした。最後の活動は、卒業式で卒業生が胸につける「花リボン」作り。先生方と保護者三十名で一つ一つ心を込めて作りました。

それぞれの道を歩み出した皆さんを、心から応援しております。 <3年P 石原 友子>

小・中学校と違い、他の父兄の方と話す機会もないので、色々な学校内のことや進路情報などを知りたくて参加しました。

親が知っていることにより、子供にもアドバイスしてやったり、相談相手になれたと思います。

来年は自分の子供もこのリボンをつけて卒業するのかなー？と思いながら作りました。でも、その前に3年生に・・・

これからもできるだけ行事に参加したいと思います。 <2年P 坂井 真由美>

四月に中越高校に入学させていただいて、早いものでもう一年が終わりとうとしています。

その締めくくりに花リボン作りに参加し、その小さなリボンに込められた、先生や保護者のさまざまな想いを、作りながらひしひしと感じました。

この心のこもったリボンを胸に、三年生が希望に満ちた思いで卒業していつてくれることをねがいます。

<1年P 今泉 知佳>

卒業おめでとうございます。今後もホームページで越高PTAだよりを見ていただければ幸いです。

「リアルタイムな広報誌にしてほしい」という意見があり、発行回数を増やす方向で次年度にむけて検討中です。本年もPTA会員の皆様には御協力、御愛読いただき心より感謝申し上げます。 総務広報委員長 杉山 透

